

庭園ボランティアの育成

都立庭園ガイドシステムの導入

東京都台東区都市づくり部公園緑地課長 高橋康夫
財団法人東京都公園協会 福島朋子

1 ガイド導入の機運

都立庭園は江戸時代から近代にかけて作庭された日本を代表する庭園であり、いずれも国あるいは都の史跡・名勝に指定されています。

都立庭園の管理は東京都公園協会（以下「公園協会」という）が行っていますが、公園協会はこれのすばらしい文化財庭園を後世に残すべく、また多くの都民の利用に供するよう、「景（空間）の復原」と「利用の復原」の視座から庭園の活性化及び維持管理の充実を図っています。

文化財庭園の魅力をより多くの方に理解していただく一環として、庭園の見方のポイントをガイドし、庭園の魅力アピールすること、「来てよかった」という来園者の満足度をより高めるための庭園

ガイドを平成二一年度より導入しました。

2 ボランティアガイド導入の視点

ガイド導入に際し、次の点を重要課題として導入を図りました。

- ① 広く人材を求める
- ② 意欲のある人材を発掘する
- ③ 社会貢献に寄与する
- ④ ステイタスを確立する
- ⑤ 世代交代を図る

そのために、左記の過程を踏まないと庭園ガイドにならない独自のガイドシステムを導入しました。

「庭園専門講座」受講

「都立庭園ガイド養成講座」受講

T・G・L

（都立庭園ガイドライセンス）取得

都立庭園ガイド誕生

都立庭園ガイドは、庭園の楽しみ方を来園者に伝えるものであり、義務的なガイドではなく、個性あふれる多様なガイドが求められています。そこで、庭園に対する情熱があり、社会貢献に寄与できることの喜びも得られるボランティアによるガイドとしました。

3 ガイド育成プログラムについて

公園協会では、平成二一年度より庭園ガイド導入の第一ステップとして、都立庭園の魅力を広く理解するための庭園専門講座「江戸の大名庭園」を開校しています。内容は日本庭園についてなど、多岐にわたっており、庭園ファンを開拓す

るきっかけづくりとなっています。

また、「江戸の大名庭園」修了生を対象に行う「都立庭園ガイド養成講座」は、ガイドに必要な庭園の専門的知識を各都立庭園中心に学び、ボランティアとしての心構えを築くもので、今年で第六回目を数えています。講座終了後はガイド希望者を対象に一定水準のガイドを行うために、択一問題および小論文からなる公園協会独自の制度であるガイドライセンス試験を行っています。

平成一五年度

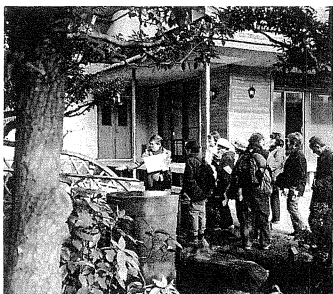
「ガイドボランティア養成講座」

カリキュラム

- ① 文化財保護指定庭園の現況と課題
- ② 六義園の概要
- ③ 清澄庭園の概要
- ④ 小石川後楽園の概要
- ⑤ 浜離宮恩賜庭園の概要
- ⑥ ガイド実習Ⅰ六義園Ⅰ
- ⑦ ガイド実習Ⅱ浜離宮恩賜庭園Ⅰ
- ⑧ ガイド実習Ⅲ清澄庭園Ⅰ
- ⑨ ガイド実習Ⅳ小石川後楽園
- ⑩ 公園協会の概要・ガイドの心構え

4 導入後の庭園ガイド

現在、浜離宮恩賜庭園、小石川後楽園、



ボランティアによる庭園ガイド



六義園、清澄庭園、旧岩崎邸庭園の五か所です。日曜・日曜・祭日を中心に庭園ガイドを行っています。

ガイドの内容は、庭園の歴史・植物や季節の旬の見所などをわかりやすく解説しています。ガイドの皆さんはとても熱心で、独自に庭園の隠れたエピソードや見方を研究し、説明の仕方も紙芝居形式を導入するなどの工夫をして熱心に取り組んでいます。

都立庭園の入園者数は、平成九年度には二二〇万人を切りましたが、ここ数年上昇傾向にあり、平成一五年度の入園者数は二四〇万人を越すこととなりました。

庭園ボランティアガイドは着実に定着し、多くの来園者から好評を得ており、入園者増の一翼を担っています。

今後とも都民の貴重な財産である文化財庭園を適切に管理し、より庭園の魅力を高めるとともに、後世に引き継ぐという大切な使命を果たすため、都民の理解と協力を得て行っている庭園ボランティアガイドをさらに充実させたいと考えています。